

## MVN Studio 4.2 リリースノート

<https://www.xsens.com/download/MVN/mvnstudio412/MVN-Studio-4.1.2-Release-Notes.pdf>

新バージョン	■MVN Studio 4.2(Link/Awinda共通) ■Awindaシステム：AW-A FW 3.0.4, AW-DNG FW 3.0.4, MTw FW 3.0.4 ■Linkシステム：BP FW 1.0.0, MTx FW 1.0.1
旧バージョン	MVN Studio 4.1.2 (2015年4月)
リリース日	2015/6/18
アイコンの意味	[+]追加機能、[^]変更機能、[!]注意点、[#]改良点、[-]削除機能

### 1. イントロダクション

このリリースノートにはMVN Studioの最新バージョンである、バージョン4.2の詳細を含みます。今回のリリースはタイムコードプラグインのアップデートを含みます。またレコーディングワークフローにおいて、よりシームレスにコメントを追加できるよう改良されています。

### 2. 主な改良点と新機能

- + 標準的なサウンドカードによるLTCタイムコードのサポート (MVN Studio Pro, Biomechのみ対応)
- + リアルタイムストリーミングプロトコル(サンプルコード、Matlab Examplesを含む)を含んだ新しいDeveloper ToolkitのインストーラMVN Studio Biomechのみ対応)
- + MVN Studioでのコメントの表示、編集が可能となります。またWindowsのエクスプローラが"ファイルを開く"ダイアログからも表示可能となりました。
- + ライセンス認証プロセスの改善。またこの改善に伴い、オフラインでのアクティベーションも簡便になりました。

### 3. バグフィックス

- # MVN Studio BIOMECHの機能において、リアルタイムグラフ機能でセンサーデータが正しいセンサーに対応していないバグを改善
- # N-Poseのキャリブレーションが完了できない(永久に"Hangs"している)
- # 保存されたキャリブレーション結果をロードしようとすると、"Location IDs do not match"というエラーが表示され、ロードすることができない
- # "X-axis"のコメントボックスが表示されない
- # mvnsファイルを出力する際に、二重拡張子で出力される
- # MVN Awindaで長時間レコーディングを行った後、遅れて開始される
- # ライブセッション中にレコーディングファイルを開いたり閉じたりすると、MVN Studio 4.2がクラッシュする
- # "Playback selection"を実行した後、右矢印キーを押しても反応しない
- # 一般的な安定性の向上
- # マイナーバグフィックス

### 4. マイナーアップデート

- # デフォルトでサブネット使用によるネットワークライセンス認証をサポート
- # 認識されているシステムにSyncステーションがリスト表示されない
- # ストアされた磁気バイアスによる予期せぬMocap動作への悪影響
- # MVN Studioの起動時にヘルプとチュートリアルにダイレクトにアクセスできるよう、ポップアップウィンドウ(aka Splash Screen)を追加

### 5. 確認されている問題点

- ! スタートセッションで設定を変更された場合、"Tick"アイコンをダブルクリックしても直ちに変更が適用されない
  - 回避策：一度"OFF"をクリック、その後"ON"にすることで変更が適用されます
- ! Zigbeeの通信トラフィックが集中している場合、割り振られたチャンネルを選択することができません
  - 回避策：続行する無線チャンネルを変更してください。チャンネル設定の変更方法はユーザーマニュアル：18.10.3をご参照ください
- ! MVNリファレンスカメラをジャンボフレームで使用されている場合、ネットワークストリーミング機能を使用中に問題が発生する可能性があります
- ! ボディパックよりも先にアクセスポイントをWPSモードに設定した場合、WPS通信が時々失敗することがあります。
- ! MVN Studio BIOMECHとSiemens Tecnomatixとのタイミングの問題：Siemensサイドでキャラクターデータが落ち、再度表示

される場合、一度"Stop Server"をクリックしその後"Start Server"をクリックしていただくことで、再度データが表示されます